

対象学年	高等学校 第2学年
学習指導要領	自分が伝えようとする内容を整理して、場面や目的に応じて、読み手に理解されるように書く。
単元名	Lesson 1 自己紹介 (全3時間) Writing ()
単元目標	<ul style="list-style-type: none"> ・間違いを恐れず多く書いている。 ・写真やイラストなどの非言語手段を用いたり、*Conversation Strategies を用いて、ペアでの会話活動に積極的に参加しながら、相手に自分の考えを伝える工夫をする。 (コミュニケーションへの関心・意欲・態度) ・書き加えたり、書き改めたりする過程を経て、自分の考えを平易な英語で正しく書くことができる。 ・内容を整理し、適切な分量で書くことができる。 (表現の能力) ・自己紹介に必要な語彙や表現を身に付けている。 ・自己紹介における異文化間の相違について基本的なことを理解している。 (言語や文化についての知識・理解)
配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介を英語で表現できるようにするために、「書く」「読む」「聞く」「話す」の各活動を結びつける。特に、「書く」活動と「話す」活動を統合することにより、読み手や聞き手を意識した情報の発信ができるようにする。 ・「書く」活動では、トピックについて自分の考えを書くために必要な語彙や表現を身につけられるように留意する。 ・*peer-editing を導入することにより、主体的に学ぶ力をつけるようにする。 ・録音した会話を分析するという自己評価活動を継続的に取り入れることにより、生徒の気づきを大切に、自己学習能力を高めるようにする。 ・トピックについて、何度も書いたり、ペアで会話活動することにより、徐々に内容を膨らませていくようにする。「書く」過程を大切に、ワークシートや英作文は、すべてポートフォリオにして保管しておく。学期末にポートフォリオ評価を行い、それまでの学習過程を自己評価できるようにする。
参考資料	資料1 授業で用いるワークシート No.1 No.4 (*Conversation Strategies のハンドアウト No.2. を含む) 資料2 録音した会話の自己評価シート No.5, No.6 資料3 授業評価とジャーナルノート No.7

注 *Conversation Strategies : 会話を円滑にすすめるための、切り出し表現、言い換え表現、聞き返し表現、つなぎ言葉など。

*peer-editing : 英文を相互に訂正しあい、内容についてアドバイスやコメントをすること。

2. 単元の評価規準

	ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 表現の能力	ウ 理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
内容別・活動別・JWS評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ・言語活動に積極的、主体的に取り組んでいる。 ・さまざまな工夫をしながら書くことでコミュニケーションを主体的に続けようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的な話題について、得た情報や自分の考えを英語で正しく書くことができる。 ・日常的な話題について、場面や目的に応じて、英語で適切に書くことができる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・言語やその運用についての基本的な知識を身に付けている。 ・日常的な話題について、英語の学習で取り扱われた文化について理解している。
単元における評価規準	<p>(言語活動への取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・間違いを恐れずに多く書こうとしている。 <p>(コミュニケーション活動への継続)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非言語手段を用いたり、ペアでの会話活動に積極的に参加したりし ・ながら、自分の考えを伝える工夫をしている。 	<p>(正確な筆記)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書き加えたり、書き改めたりする過程を経て、自分の考えを平易な英語で正しく書くことができる。 <p>(適切な筆記)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介として書く内容を整理し、その内容について自分の考えを伝えられるように、適切な分量で書くことができる。 		<p>(言語についての知識)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介に用いる語彙や表現を身に付けている。 <p>(文化についての理解)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介における異文化間の相違について基本的なことを理解している。
学習活動における具体的評価規準	<p>(言語活動への取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・間違いを恐れず、辞書などを用いて、多く書こうとしている。 <p>(コミュニケーション活動への継続)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イラストや写真などを用いて書いたり、“How about you?”を適切に用いたりして、会話活動を継続している。 	<p>(正確な筆記)</p> <ul style="list-style-type: none"> 自己訂正や相互訂正を通して、相手にわかるように平易な英語で正確に書くことができる。 <p>(適切な筆記)</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の趣味や興味のあることを3つ選び、内容を整理し、9文程度の英文で書くことができる。 		<p>(言語についての知識)</p> <ul style="list-style-type: none"> 趣味や興味のあることを述べて自己紹介をするときの基本的な語彙や表現を身に付けている。 <p>(文化についての理解)</p> <ul style="list-style-type: none"> 自己紹介についての文化的背景や異文化間の相違を理解している。

3 指導と評価の計画 (全3時間)

時	ねらい	学習活動	評価規準				評価方法	指導・援助
			ア	イ	ウ	エ		
1	<p>本時の活動を確認し、目標を設定する。</p> <p>自己紹介の場面を理解する。</p> <p>基本的なアイデアを生み出す。</p> <p>会話活動を促進するためのつなぎ言葉や切り出し表現などを使えるようにする。</p> <p>授業活動や授業への参加態度を振り返る。</p> <p>トピックについての自分の考えを整理して、適切な量の英文を書くことができる。</p> <p>授業や英語学習に対する姿勢を振り返り、分析することができる。</p>	<p><Goal setting> 授業のはじめに、本時の活動と目標を確認し、授業での英語使用度の目標を各自設定する。</p> <p><Listening> JTEとAETが自己紹介をテーマに会話をする。必要な情報を聞き取り、ワークシートの表に記入する。 先輩たちの会話をビデオで見る。必要な情報を聞き取り、ワークシートの表に記入する。</p> <p><Introducing 3 questions> 自己紹介に用いる基本的な3つの質問を導入し、それぞれ1文で答える。</p> <p><Conversation Strategies> 3つの表現を短い会話表現で練習する。 “How ya doin?” “How about you?” “Nice talking with you.” ペアの相手を変えながら、3 - 5回ほど会話活動を行う。</p> <p><Class evaluation> 授業での活動を評価する。宿題として、授業や英語学習についてjournalを書いてくる。</p> <p>Assignments 教科書や先輩の自己紹介英作文を読む。 Three Questionsの各質問の答えを膨らまし、9文ほどの英作文を書いてくる。必要な語彙を調べ、新しい質問を2つ書いてくる。 授業での活動や英語学習について、英語でコメントを書く。(Journal)</p>					<p>活動の観察</p> <p>ワークシートの記入状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動を確認し、授業でどれだけ英語を使用するかという目標を%で設定させ、主体的に授業に取り組みさせる。 ・自己紹介の場面をリスニングで導入し、どのような情報を交換するのか理解させる。 ・タブーな質問についても説明し、異文化間の相違を理解させる。 ・自己紹介で何を表現するのか基本的な考えを1文で表現させる。 ・書く内容を膨らませ、語彙の定着を図るために、ライティング活動とスピーキング活動を繰り返して行わせる。 ・授業のはじめに設定した目標の達成度を確認させ、主体的に授業に取り組みさせる。 ・先輩の英作文や教科書の英作文を読み、表現を参考させる。 ・自分の考えを書くために必要な語彙を辞書で調べて、書くように助言する。 ・2週間に一度、Journalを提出させ、生徒のコメントをクラスに紹介する。
	<p>本時の活動を確認し、目標を設定する。</p> <p>会話活動を促進するためのつなぎ言葉や切り出し表現を復習する。</p>	<p>授業のはじめに、本時の活動と目標を確認し、授業での英語使用度の目標を各自設定する。</p> <p>前時に学習した3つの基本的な質問とConversation Strategiesを用いて、短い会話活動をする。</p>					<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動を確認し、授業でどれだけ英語を使用するかという目標を%で設定させ、主体的に授業に取り組みさせる。 ・前時に学習したstrategiesを使うように励ます。ワークシートを見ないで、会話をするよ 	

2	<p>読み手を意識して書くことを習慣づける。相互訂正をすることにより、誤りに気づくようにする。</p> <p>書く内容を膨らませ、語彙の定着を図るために、スピーキング活動と結びつける。</p> <p>録音された会話を分析し、自己評価する。学習過程を明らかにし、主体的に英語学習に取り組むようにする。</p> <p>授業を振り返り、英語学習について考える。</p>	<p>ペアの相手を変えながら、3 - 5回ほど対話活動を行う。</p> <p><Peer-editing> 宿題で書いてきた英作文をペアで交換し、相互訂正や内容についてコメントする。</p> <p><Timed-conversation> 書いたものを基に、2分間の対話活動を行う。会話が終わったあとに、聞き取った内容の要点を書く。 ペアの相手を変えて3 - 4回行う。</p> <p><Taped-conversation> 2分間の会話をして、カセットテープに録音する。</p> <p><Class Evaluation> 授業内の活動を評価する。宿題として、授業や英語学習についてのコメントを英語で書いてくる。</p> <p>Assignments 会話を録音したテープを聞き、2人の会話を全て書き出す。 録音した会話を分析し自己評価をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 文法的な誤りの自己訂正（3つ） 使用した conversational strategies ペアの相手から学んだこと 会話の自己評価と次回の目標設定 <p>授業内での活動や英語学習について、英語でコメントを書く。(Journal)</p>					<p>ワークシートの記入状況</p> <p>活動の観察</p>	<p>うに留意する。</p> <ul style="list-style-type: none"> よくある誤りを紹介し、その項目は訂正できるように努力させる。 友達の英作文から、語彙表現を学ぶように励ます。 内容についてコメントするように励ます。 会話活動を繰り返すうちに、最後には書いたものを見ないで会話ができるように努力させる。 Conversation Strategies を用いて2分間会話するように励ます。 聞き取りの要点を書く活動は、会話が終わってから行うように留意する。 会話を録音するときは、英作文を見ないで会話をするように留意する。 授業のはじめに設定した目標の達成度を確認させ、主体的に授業に取り組ませる。 何度も聞き、できるだけ録音されている会話を再現できるように努力させる。聞き取れない単語があれば、辞書を用いて書くように努力させる。 学んだ点と、まだ学べていない点を書き出し、気づかせる。 次回の目標を設定することにより、主体的に活動に取り組ませる。 2週間に1度、Journalを提出させ、生徒のコメントをクラスに紹介する。
	<p>本時の活動を確認し、目標を設定する。</p>	<p><Goal setting> 授業のはじめに、本時の活動と目標を確認し、授業での英語使用度の目標を各自設定する。</p>						<ul style="list-style-type: none"> 本時の活動を確認し、授業での英語使用度の目標を設定させ、主体的に取り組ませる。

3	相互訂正の仕方や内容の膨らませ方を学ぶ。	<p><Peer-editing> 先輩の英作文をクラス全体で読む。 クラスの中で1つ英作文（前時に peer-editing したもの）を選び、ペアや全体で内容についての質問やコメントを考える。誤りの訂正についても確認する。</p> <p><Rewriting> 会話活動を繰り返し行い伝えたい内容がさらに増えていけば、それを書き足し、相互訂正などにより書き改めたいところは書き改め、写真やイラストを添えて、自己紹介の作品に取りかかる。 作品は、家で完成して行く。</p> <p><Class Evaluation > 授業内の活動を評価する。家で Journal を書いてくる。</p> <p>Assignments 作品を完成する。 授業内での活動や英語学習について、英語でコメントを書く。(Journal)</p>					作品	<ul style="list-style-type: none"> ・内容を膨らませ、英文を書き足すことが、重要であることを理解させる。 ・前回よりも英文の数が増え、内容が深まるように励ます。 ・英作文の作品は廊下に掲示することを伝え、読み手を意識して書くように努力させる。 ・全員の自己紹介作品を廊下に掲示して、クラスを超えて、お互いの作品を読み合える雰囲気を作る。 ・2週間に1度、Journalを提出させ、生徒のコメントをクラスに紹介する。
---	----------------------	---	--	--	--	--	----	---

*2時間目や3時間目の assignments は、家での宿題である。

4. 単位時間の授業展開例 (第2時間目)

(1) 本時のねらい

- ・前時に学習した **Conversational Strategies** を用いて、ペアでの2分間会話活動に積極的に参加し、自分の考えを伝える工夫ができる。
- ・宿題で書いてきた英作文を、文法と内容に関して **peer-editing** をする。9文程度の英作文に仕上げる。
- ・趣味や興味のあることを3つ選び、必要な語彙を身に付け、3つの内容について話したり書いたりできる。

(2) 本時の位置 2/3時

(3) 展開案

過程	学習活動	評価についての詳細・留意点 (内容と方法)	指導・援助
前時の復習	授業のはじめに、本時の活動と目標を確認し、授業での英語使用度の目標を各自設定する。 前時の3つの基本的な質問と Conversation Strategies を用いて、会話活動をする。 ペアの相手を変えながら、3 - 5回会話をする。		<ul style="list-style-type: none"> ・授業でできるだけ英語を使うようにするために、目標を徐々に高く設定するように励まし、努力させる。(資料2 No.7) ・前時に学習した Conversation Strategies を使うように工夫する。 ・ワークシートを見ないで、会話をするように励ます。
導入	<p><Peer-editing> 宿題で書いてきた英作文をペアで交換し、相互訂正や内容についてコメントする。 もう一度、自分で読み直し、自己訂正をしたり、書き加えたりする。</p>	<p>イー 平易な英語で正しく書くことができるか。 イー 内容を整理し、9文程度の英作文に仕上がっているか。 ワークシートの記入状況で評価する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・peer-editing に入る前に、生徒がよく間違えそうな表現を紹介し、その項目は訂正できるように努力させる。主語と動詞を意識させる。 ・友達の英作文から、語彙表現を学ぶように励ます。 ・peer-editing をして、書き直したり書き加えたりさせる。 ・机間指導を行う。そして、生徒間でよく見られる間違いをクラスで紹介する。
展開	<p><Timed-conversation> 書いたものを基に、ペアで2分間の会話活動を行う。会話が終わったあとに、聞き取った内容の要点を英語で書く。 ペアの相手を変えて、2分間の会話活動を3 - 4回行う。毎回、聞き取った内容の要点を英語で書く。</p> <p><Timed-conversation> 2分間の会話をして、テープに録音する。</p>	<p>アー Conversation Strategies を用いて、会話を続けようと努力しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・会話活動を繰り返すうちに、最後には書いたものを見ないで会話ができるように努力させる。 ・Conversation Strategies を用いて2分間会話をするように励ます。 ・聞き取りの要点を書く活動は、会話が終わってから行うように留意する。(資料1 No.4) ・会話を録音するときは、書いたものを全く見ないように留意する。
まとめ	<p><Class Evaluation> 本時の活動を自己評価する。 本時での Conversation Strategies と、peer-correction で訂正した間違いの例をまとめる。 宿題の指示をする。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・授業では、簡単に1 - 5のスケールで授業での活動を評価し、授業内での英語使用度について目標が達成できたかどうか確認させる。そして、授業についてのコメントを宿題として家でノートに書いてくるように指示する。ノートは、2週間に1回提出し、journal に出てくる生徒のコメントを newsletter としてクラスで紹介する。(資料3 No.7)

宿題	<p><Assignments> journal 授業の活動や英語学習についてのコメントを英語で書く。</p> <p>transcription 会話を録音したテープを聞き、2人の会話を全て書き出す。</p> <p>self-assessment 録音した会話を分析し自己評価をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 文法的な誤りの自己訂正（3つ） ・ できるようになったこと（3つ） ・ この会話で使用した Conversation Strategies ・ ペアの相手から学んだこと ・ 会話の自己評価と次回の目標設定 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 何度も聞き、録音されている会話をできるだけ再現できるように努力させる。つづりがわからない単語があれば、辞書を用いて書くように努力させる。（資料2 No.5） ・ 学んだ点と、まだ学べていない点に、気づかせる。 ・ 次の目標を設定することにより、意識的に活動に取り組ませる。（資料2 No.6）
----	---	--	--

5. 評価の実態と個に応じた指導事例

(1) 本時重点的に取り上げた評価規準

- イー 自己訂正や相互訂正を通して、相手にわかるように平易な英語で正確に書くことができる。
- イー 自分の趣味や興味のあることを3つ選び、内容を整理し、9文程度の英文で書くことができる。

(2) 評価の方法

(ワークシートの記入状況)

- ・宿題で書いてきた英作文をペアで交換し、相互訂正や内容について質問やコメントを加える。さらに、もう一度自分で読み直し、誤りを訂正したりペアのコメントに対して書き加えたりする。

(評価の決定)

- ・英文が9文書けており、授業で紹介する基本的な誤りが正してあり、ペアのコメントに対して英文が書き加えてあれば (B以上)と判断する。この段階で、すべて誤りが正してあり、正しい英文が書けている必要はないが、誤りがほとんどなく、つづりの間違いもない英作文に仕上がっていれば、Aとする。または、文の数が12文以上と多い場合もAとする。英文の数が8文以下であればCとする。

(例1)

Three things about me

I like reading books. I am reading about "Shinsengumi" now. ~~so~~ because
I like Japanese history. I think it is very interesting. I want to be a history teacher.
I like baseball, but I can't play baseball. So I like watching baseball games.
Baseball game is very ~~excited~~ exciting. I like Giants team very much.
I like Fay Wong. She is a singer. She is from China. But she can speak
Japanese and English, too. My favorite song is "Eyes on me". This song is
very beautiful.

青字の部分は、peer-editing の後、書き直したり書き加えたりしたものである。誤りは、訂正されており、文の数も12文以上なので評価はAを与える。

(例2)

Three things about me

My hobbies is watching movie. I like action movie. I don't like horror
movie.
~~I like singer~~ My favorite singer is Ayumi Hamasaki. She is very ~~prity~~ pretty.
Her songs is are good.
I like to watch soccer game. But I don't play soccer. I want to watch soccer
games. But I don't have ticket.

青字の部分は、peer-editing の後、書き直したり書き加えたりしたものである。誤りは全て訂正されていないが、授業で紹介したよく見られる誤りは訂正されており、文の数も10文なので評価はBを与える。

(3) 個に応じた指導の実際

個の学習状況に応じた手立て

< 誤りの自己訂正や相互訂正のできない生徒に対して >

英作文を書いた生徒(ペアの相手)と一緒に読んでいき、クラスで紹介する基本的な誤りの訂正例があるかどうかペアの二人で調べさせた。

辞書を用いて、ペアの二人で、単語を5つ選ばせ、つづりを確認させた。

内容についての質問やコメントを日本語で話し合わせた。

< 友達の英作文がよく理解できない生徒に対して >

英作文を書いた生徒（ペアの相手）の説明を聞きながら英作文を読み、内容についての質問やコメントを日本語で話し合わせた。

クラスで紹介する基本的な誤りの訂正例があるかどうかペアの二人で調べさせた。

単元を通した継続的な手立て

誤りを見つけて相互訂正することや自己訂正することは簡単なことではない。これまでは、教師が誤りを訂正することが多かったため、自ら誤りを見つけ、訂正することに慣れていない。したがって、**peer-editing** を通して、内容と言語形式に注目しながら、何度も英文を推敲することを経験させることから始める必要がある。この単元の3時間目では、**peer-editing** をした後の英作文を例としてクラス全体の前で紹介し、誤りの訂正の仕方、内容へのコメントについて、ペアやクラスで話し合った。**editing** という活動に慣れるまでは、このように、**editing** のよい例を紹介していく必要がある。

しかし、誤りのない英文を書かなくてはいけないというプレッシャーや、誤りはすべて訂正しなくてはいけないという考えを持たないように留意する。この段階で重要なことは、正確さよりも多くの英文を書くこと、自己表現につながる語彙を増やすことである。まず、できるだけ多くの英文を書くように励まし、内容が重要であることを徹底させる。そして、**peer-editing** では、内容を膨らますことが重要であることを理解させ、**peer-editing** を通して、読み手を意識したコミュニケーション活動としての英作文活動へと発展させていく。

6. 評価から評定へ

(1) 評価

ライティングにおいては、各レッスンをトピックとしてとらえ、トピックについての会話 (timed-conversation, taped-conversation) と英作文の活動を中心に、3つの観点から継続的に評価するように年間計画を立てた。それに基づき次のような補助簿を作成した。

(授業における評価)

(例) Lesson 1

	具体的な評価規準	評価の場と方法	1	2	3	...
関心・意欲・態度	間違いを恐れず、辞書などを用いて、多く書こうとしている。	活動の観察	B	A	C	
	イラストや写真などを用いて書いたり、“How about you?”を適切に用いて、会話活動を継続している。	活動の観察 作品(レッスン最後に提出する英作文の作品)	A	A	B	
表現の能力	自己訂正や相互訂正を通して、相手にわかるように平易な英語で正確に書くことができる。	ワークシートの記入状況	B	A	B	
	自分の趣味や興味のあることを3つ選び、内容を整理し、それぞれ5文程度の英文で書くことができる。	作品(レッスン最後に提出する英作文の作品)	B	A	C	
知識・理解	趣味や興味のあることを述べて自己紹介をするときの基本的な語彙や表現を身に付けている。	作品	B	A	B	
	自己紹介についての文化的背景や異文化間の相違を理解している。	活動の観察	B	B	B	

上記の補助簿が、単元ごとにできることとなり、生徒の活動の様子がわかって教員の指導の参考になる。

(定期テストにおける評価)

前期中間テスト(基本文、条件英作文テスト、自由英作文テスト、生徒の相互訂正の例を用いた間違い訂正、リスニング)

前期末テスト(基本文、条件英作文テスト、自由英作文テスト、生徒の相互訂正の例を用いた間違い訂正、リスニング)

後期中間テスト(基本文、条件英作文テスト、自由英作文テスト、生徒の相互訂正の例を用いた間違い訂正、リスニング)

前期末テスト(基本文、条件英作文テスト、自由英作文テスト、生徒の相互訂正の例を用いた間違い訂正、リスニング)

(パフォーマンステストにおける評価)

定期テストの前時間にパフォーマンステストを行う。これは、ペアの相手とトピック(授業で取り組んだもの)がその場でできまり、決められた時間で会話をするテストである。トピックについて書いてきたことを基に、どれだけコミュニケーションを図れるかを評価する。

(ポートフォリオ評価)

前期末と後期末に、それまでの*ワークシートと*ジャーナルを見直し、学習過程を振り返りながら学期末レポートを書く。

*授業で用いたワークシートはすべてファイルに保管しておく。

*ジャーナルとは、授業後に、授業や英語学習について英語で書く日記のようなものである。

(2) 評定

ウエイトバランス表を以下のように作成した。

観点	評価方法	配分	合計
関心・意欲・態度	授業における評価	10%	20%
	パフォーマンステスト	10%	
表現の能力	授業における評価	10%	50%
	パフォーマンステスト	10%	
	定期テスト	20%	
	ポートフォリオ評価	10%	
知識・理解	授業における評価	10%	30%
	定期テスト	20%	

Topic 1 Three things about me

1. Listen to the dialogue and fill in the chart.

(1) First listening: fill in three favorite things

(2) Second listening: fill in details

Person D	details	Person K	details
1.		1.	
2.		2.	
3.		3.	

2. Three questions.

(1) What are your hobbies?

(2) What kind of sports do you like?

(3) What is something special about you?

Conversation Strategies 1

1. How to open a conversation



Example: A: How ya doin'?
B: Pretty good!

2. How to end a conversation



Example: A: Nice talking with you!
B: You, too!

3. Let your friend talk

How 'bout you?

Example: A: Hi! My name is Keiko. I'm from Gifu. I like listening to music. I'm crazy about tap dancing. How 'bout you?
B: My name is

Three things about me

Class () Name ()

1. **Three things about me**

2. **New Vocabulary**

3. **Two new questions**

Timed-Conversation

Class () Name ()

Directions: Summarize the main points

Partner's name ()

Partner's name ()

Partner's name ()

Partner's name ()

Self-evaluation sheet : 2 -Minute Conversation

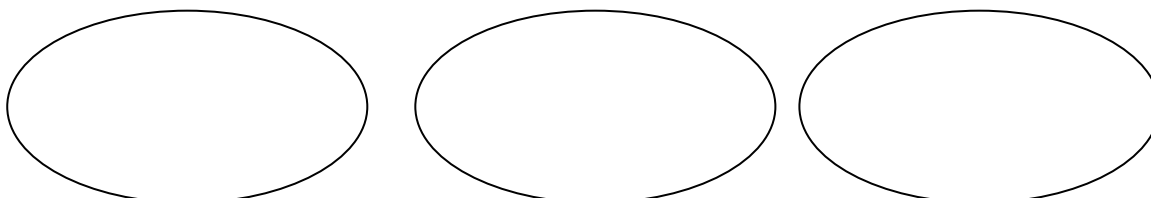
Topic : Three things about me!

Date:

Partner's name:

1. How I prepared for the conversation:

2. Here are three things I'm proud of.



3. Here are three things I said that I want to correct:

Example : I like the singer is Ayumi Hamasaki.

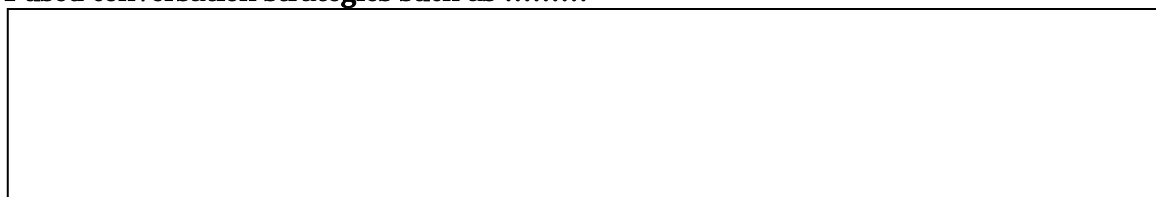
My favorite singer is Ayumi Hamasaki.

(1)

(2)

(3)

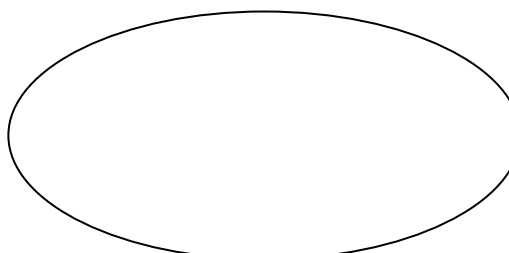
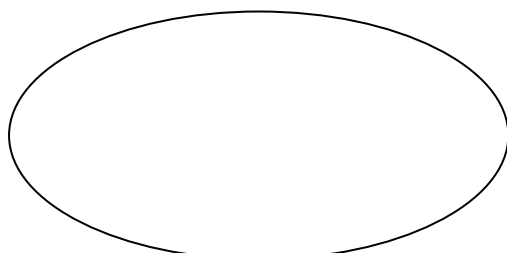
4. I used conversation strategies such as



5. NOTICING my partner:

Useful things my partner said

Suggestion for my partner



5. Goals for next timed- conversation.

6. On a scale of A+, A, B, C, F, I would give myself _____ for my part.

Class Evaluation and Journal Writing :

Date _____	English Target (_____)%		
	English Used (_____)%		
Activities	Interesting (1-5)	Difficulty(1-5)	Usefulness(1-5)
1.	_____	_____	_____
2.	_____	_____	_____
3.	_____	_____	_____
4.	_____	_____	_____
5.	_____	_____	_____

Journal :

*まず、授業の終わりに、授業での活動3つの観点から1 - 5のスケールで評価する。その後、宿題として、授業や英語学習について英語でコメントを書いてくる。ノートに記録し、2週間に1度提出する。